

平野ヶ丘

校長室のひとりごと

『養正教育の日』

4月23日(土)、お天気にも恵まれ、とても気持ちのよい日になりました。お子さんと一緒に登校される方からは、にこやかな挨拶が返ってきます(子供の中には、6連勤?の影響か眠そうな顔の子も…)。役員さん方は、朝早くからスムーズに車の誘導をしてくださっています。それに対し、どなたも車中から会釈をして通って行かれます。地区を分けての2時間の参観や参観者原則1名のお願いにも概ねご協力いただきました。全ての学級を見て回りましたが、参観のみなさんも本当に静かにお子さんの学習の様子をじっくりとご覧いただいていたました。何よりほとんどのご家庭から参観にお越しいただけたことは、子供たちにとって大きな励みになったと思います。お忙しい中、本当にありがとうございました。



『新型コロナの感染状況』

コロナの状況についてもまだまだ予断を許しません。今年2月から5~11歳の子供もワクチン接種を受けることができるようになりましたが、一般的に子供は重症化リスクが低いとされていることや副反応への不安などからか、今のところ12歳以上の時ほどには接種率が伸びていないのが現状のようです。そんな中、本校でもご家族やお子さんの陽性が判明したり、濃厚接触者として検査を受けたりするなどの連絡も断続的に入ってきています。その際の連絡も迅速かつ丁寧に行っていただいております。ご家庭での対応をしっかりやっただけなので幸いなことに学級閉鎖等の措置には至っていません。個別の感染は当然ありますが、校内での感染拡大を防げているのは、みなさんの“意識”と“行動”の高さです。



『ホームグラウンドに、抜群の安定感!』

今回は、授業参観とコロナの現状について取り上げましたが、赴任してひと月あまりの私が強く感じているのは、「養正小の子は、本当に家族から愛されているなあ。」「養正小学校は、本当に地域の方から大切にされているなあ。」ということです。子供は、起きている間の結構長い時間を学校で過ごします。学年が上がるにつれてその時間も長くなっていきます。



でも、子供のホームグラウンドは、あくまで家庭・地域にあります。心安らぐ温かい家庭生活や優しい眼差しに包まれる安全で安心な地域の支えがあってこそ、子供は学校で力を発揮することができます。そして、毎日の「力だめし(自分への挑戦)」・「力くらべ(友達とのかわり)」を重ねることで、少しずつ自分に対する自信をもち、その分だけ自分のことを好きになり、【自己肯定感】を高めていくのです。

養正小学校の強みは、そんなホームグラウンドの“抜群の安定感”にあるということを日々さまざまな場面で感じています。